

拠点研究（一般推進）（課題番号：30A-02）

課題名：陸海面上昇の砂浜への影響評価の全国展開

研究代表者：森 信人，気象水象災害研究部門，教授

研究期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日

共同研究参加者数：20名（所内7名，所外13名）

大学院生の参加状況：

防災研究所の3つの研究分野・研究領域に属する修士学生（5名）と博士学生（2名）に加えて各大学の修士課程大学院生が30名以上参加した。主に現地における測量およびサンプリング等，直接的に研究拠点形成に係わり，アーリーキャリアの形成につながった。

研究概要：

地球温暖化に伴う沿岸部への影響が懸念されている。しかし，我が国における海面上昇の砂浜への影響評価は非常に遅れており，全国規模の海岸線後退量推定や脆弱性の実態の把握は行われていない。海面上昇に伴う我が国の砂浜の脆弱性を全国規模で把握するためには，全国をカバーする砂浜のデータベースが必要である。

本拠点事業では，地球温暖化に伴い大幅な消失が心配されている砂浜について，その影響評価を定量的に行うためのプラットフォームの構築と基本データの整備を行う。このため，我が国の沿岸部における砂浜のデータ整備，データベース化およびこれを用いた地球温暖化に伴う海岸線後退量の推定モデルの開発を行った。

関連して公表した論文，学会・研究会発表など：

1. Mori, N., S. Nakajo, S. Iwamura and Y. Shibutani (2018) Projection of decrease in Japanese beaches due to climate change using a geographic database, Coastal Engineering Journal, Taylor & Francis, 8p. doi: 10.1080/21664250.2018.1488513
2. 国土政策技術研究所・海岸研究室，砂浜データベース，
<http://www.nilim.go.jp/lab/fcg/labo/beachindex.html>